

募集

木村看護教育振興財団 2023年度助成募集

■看護研究助成

助成対象：看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究、感染症研究を歓迎

2023年度助成する研究の分野：基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他
応募資格・要件：

①申込者（共同研究の場合は研究代表者）は、日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人

②大学教員、大学院生は対象外。ただし、大学教員や大学院生でも、臨床・地域看護に従事している看護職者は対象となる

③助成決定後、ただちに所属機関等の倫理審査委員会等への承認申請を行うこと。または、すでに承認申請中であること

④関係所属長の推薦があること

⑤営利を目的とする研究ではないこと

研究期間：2023年4月1日～2025年3月31日（2年間）

助成金額：1件100万円が限度。選考委員会の査定を経て決定された助成金額を、助成年度の6月中旬に全額一括支給

助成金の使途および報告：

①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外

②助成金の使途は、助成対象研究に必要な直接経費に限る。間接経費は含まない

③助成金の使途については、研究成果の提出時に本財団所定の様式に領収書等を添えて詳細な報告をする

応募方法：Webサイトの「看護研究助成申請書申込フォーム」に必要事項を記入し、要綱・応募用紙をダウンロード。必要事項を記入の上、次の①～②の書類とともに、申込書送付先へ送付

①研究計画書

②希望助成額の積算内訳

申込締切：2023年1月19日（木）必着

選考結果の通知：2023年3月下旬に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

研究成果の報告：

①原則として、2025年3月31日までに研究論文を学会誌等に投稿し、掲載されることにより成果の発表とする。本財団には当該論文（別刷り）、抄録を提出。抄録は本財団Webサイトに掲載予定

②上記以外の場合は、上記期間内に本財団に看護研究報告書を提出。当該報告書は、『年次報告書』または本財団のホームページに掲載。当該報告書の内容は、国の内外を問わず、他の出版物（デジタル媒体を含む）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る

③論文投稿、看護研究報告書の発表方法を問わず、本財団主催の報告会（Web形式を含む）で研究成果の概要を報告

④研究成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団の助成を受けた研究である旨を明記

その他：

①提出された書類は返却しない

②1993年度～2022年度に本財団の看護研究助成を受けた申込者（グループの場合は代表者）は選考から除外されることがある

■海外看護研修助成

研修先：メイヨークリニック（Mayo Clinic）
米国ミネソタ州ロチェスター

応募資格・要件：

①日本在住で看護師・助産師・保健師のいずれかの資格をもっていること

②看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事していること

③心身共に健康であること

④所属長・所属施設の推薦・海外への渡航許可を得ていること

⑤TOEIC 600点以上、TOEFLの所定の点数（CBT 173点以上またはIBT 61点以上）またはIELTS 5.0点以上をもっていること

※研修に通訳はつかないので、日常会話と看護の専門分野の英語力が必要

募集人員：5名

研修期間：2023年9月中旬から渡航日数を含めて約2週間

研修の方法：研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修

助成金の現物支給：研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費および海外旅行保険費用

※羽田空港までの交通費は対象外

応募方法・同書類：Webサイトの「海外看護研修助成申請書申込フォーム」に必要事項を記入し、要綱・応募用紙をダウン

ロード。必要事項を記入の上、「応募資格・要件⑤」に記載している英語力を示すスコア証明書の写しとともに、申込書送付先へ送付

申込締切：2023年1月19日（木）必着

選考結果の通知：2023年3月下旬に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

研修成果の報告：2024年2月29日（木）までに研修成果に関するレポートを提出
その他：提出された書類は返却しない

■専門看護師（CNS）奨学金助成

助成の対象：2022年10月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の14専門看護分野をめざす者のうち、以下の「応募資格・要件①～④」を満たす者

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護、放射線看護

応募資格・要件：

①看護系大学大学院修士課程に在籍し、日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得する見込みの者

②上記のうち、2023年4月に同課程の最終年次に進級予定で、2024年3月に同課程を修了する見込みの者

③2024年の専門看護師認定審査申請期間開始日までに、日本看護協会が定める専門看護師認定審査の受験資格を満たす見込みの者

④専門看護師認定審査を必ず受験し資格認定を受け、認定の専門看護分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者

募集人員：10名

奨学金の総額：1人あたり60万円。助成年度の6月中旬に前期分として30万円、10月中旬に後期分として30万円支給。使途の報告は不要

応募方法・同書類：Webサイトの「専門看護師奨学金助成申請書申込フォーム」に必要事項を記入し、要綱・応募用紙をダウンロード。「2023年度 専門看護師奨学金助成申込書」に必要事項を記入の上、次の①～④の書類とともに、申込書送付先へ送付

①専門看護師としての将来展望、抱負

②指導教員の推薦書

③本年度前期または昨年度の成績証明

書

④5年以上の実務経験のすべてを証明する書類

※①の書面の様式は自由。1200字程度を上限にA4判で記載すること

※②③についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

※④は申込書の(様式3)を必要なコピーして使用のこと

※①～④のうち、提出できない書類がある場合は、理由書を同封すること

申込締切:2023年1月19日(木) 必着
選考結果の通知:2023年3月下旬に文書で通知。助成決定者は後日、必要書類を提出

奨学金受給後の報告:奨学金受給後は、各種証明書を提出すること(提出期日は、助成決定後に連絡)

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

奨学金の返還:奨学金は原則返還不要。ただし、本財団事務局は、助成年度の4月1日から起算して6年経過するまでの間に専門看護師の認定を受けなかった者に対しては、奨学金の返還を求めることができる。返還を求められた者は、請求月から起算して24か月以内に奨学金を一括全額返還しなければならない

その他:提出された書類は返却しない

【共通】

問い合わせおよび申込書送付先:公益財団法人木村看護教育振興財団 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 8階

TEL:03-5800-2700

FAX:03-5800-0022

E-mail:kimura-info@nurseed.jp

URL:http://www.nurseed.jp/

案内

第4回

日本看護シミュレーション ラーニング学会学術集会

日時:2023年2月18日(土)

会場:兵庫県立大学明石看護キャンパス
(兵庫県明石市)

テーマ:未来を見据えて看護シミュレーションラーニングの本質を問う

プログラム:基調講演「看護シミュレーション教育の本質」阿部幸恵(東京医科大

学医学部看護学科)／特別講演「現場のニーズにシミュレーショントレーニングプログラムの開発—救急救命士の臨床能力向上のためのPROST開発の経緯とその成果」荒田悠太郎(東北大学クリニカルスキルラボ),小林正和(東北大学病院高度救命救急センター)／教育講演「ID/ISDに基づく臨床での卒後人材育成」浅香えみ子(東京医科歯科大学病院)／シンポジウム「DXがもたらす看護シミュレーションラーニングの未来」藤野ユリ子(福岡女学院看護大学),西村礼子(東京保健医療大学医療保健学部看護学科),伊藤綾子(東京医科大学医学部看護学科)／国際活動委員会企画—Global Update「バーチャル・ペイシエントを活用した教育とその成果」Miguel Padilha (Escola Superior de Enfermagem do Porto)／一般演題発表／ほか

参加申込締切:2023年1月20日(金)

参加費:(事前)会員7000円,非会員1万2000円,学生3000円／(当日)会員9000円,非会員1万5000円,学生3000円

※学生に大学院生は含まない

参加申込方法:下記Webサイトの参加申込フォームより登録

URL:https://janssl4.yupia.net/sanka.html

問い合わせ先:学術集会事務局

兵庫県立大学地域ケア開発研究所内

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町13-71

E-mail:conf_office2023@janssl.jp

運営事務局 株式会社ユピア内

〒456-0005 名古屋市熱田区池内町3-21

TEL:052-872-8101(平日10:00～16:00)

FAX:050-3737-7331

E-mail:jsl4@yupia.net

URL:https://janssl4.yupia.net/index.html

案内

第2回理論看護研究会(Web開催)

日時:2023年3月4日(土)9:00～16:30

テーマ:つくる・つかう・つたえる

プログラム:学術講演1(日本語字幕つき)

「Reflections on situation-specific theory development for men's healing from traumatic abuse and it's evolution ト라우マを抱えた被虐待男性のヒーリングに関する状況特定理論の構築と展開に関する考察」Dr. Danny Willis (Joan Hrubetz Dean

and Professor Trudy Busch Valentine School of Nursing Saint Louis University)／2「『ケアの意味をみつめる事例研究』で可視化する看護実践の知」山本則子(東京大学大学院医学系研究科教授)／セミナー「摂生できる人は何が違うのか:経済学理論からのアプローチ」真鍋雅史(嘉悦大学経営経済学部教授)／発表セッションA「臨床に生じたできごとをことばでつたえてみよう」／B「実践や研究に理論をつかってみよう」／C「新しい概念や理論をつくってみよう」／交流セッションI「発表者とともに語りあってみよう」／II「あなたの臨床経験を語りあってみよう」

参加登録期間:2023年2月22日(水)17:00まで

支払期限:2023年2月22日(水)受付分まで

参加費:一般5000円,学生3000円

※学生は参加登録画面上で学生証をアップロード,または学生証のコピーを添付して運営事務局へE-mailにて送付。学生は大学院生(修士・博士課程),大学生と看護学校生が対象

参加登録方法:下記Webサイトの参加登録フォームより登録

URL:http://theoretical-ns.umin.jp/registration/index.html

問い合わせ先:運営事務局

あゆみコーポレーション内

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A

TEL:06-6131-6605

FAX:06-6441-2055

E-mail:theoretical_ns-as@umin.ac.jp

URL:http://theoretical-ns.umin.jp/

※掲載情報は2022年12月1日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。